

令和4年司法試験 合格体験記

2021年度修了（既修コース）菊地 葵衣

17期既修の菊地葵衣です。私が司法試験に合格できたのは、岡大ローという場所で勉強できたおかげだと心から思っています。先生方をはじめ、ロー生活を支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。それと同時に、岡大ローという、素晴らしい場所で学び、修了できたことを誇らしく思います。

ロー入学前、私は、司法試験をとてつもなく大きな壁だと思っていました。もっとも、2年ロー生活を送り、合格していく先輩方の姿を見ていくうちに、司法試験を大きな壁と意識することは次第になくなっていったように思います。合格した今となっては、日々の授業、中間・期末試験、ゼミなど、小さなハードルを乗り越えていけば、いずれゴールできるのが司法試験ではないか、と思います。

そうはいっても、本番をいざ迎えるとなれば、緊張もするでしょうし不安定になることもあると思います。受験生という立場にある皆さんに、1つだけアドバイスをすれば、司法試験は相対評価だということを忘れないでほしいです。岡大ローでまともに勉強しているのであれば、自分が知らない論点は、きっと他の受験生も同様に知らない論点です。そうであるならば、問題に素直に向き合って、自分の考え方を法的に分析し、日本語としてうまく表現すれば、それだけで合格ラインは超えられると、私は思います。だからこそ、本番で「知らない」と思っても焦らずに問題文と向き合ってほしいです。

偉そうにアドバイスをするのはここまでにして、司法試験に合格したことで、やっと法曹としてのスタートラインに立つことができました。就職活動をする中で、法曹を目指したきっかけや、どんな法曹になりたいのかを見つめ直すことができました。これから先の方が、受験生として過ごした日々よりも辛いことが待ち受けているかもしれません。それでも、合格を知った瞬間の喜びやワクワク、希望を忘れずに、よき法曹を目指して成長していきたいです。